

## 愛知県津島市立北小学校 6年梅組クラス会

皆さんにクラス会の案内は届きますか。そして参加しますか。

3月の終わり、小学校のクラス会に行って来ました。津島市立北小学校といいます。

前回から5年ほど経っているので、一日千秋の思いでした。開催の案内は例によって、電話連絡です。案内状というものは存在しません。

当日わかったことですが、幹事の説明による参加料は、聞いた人によって金額が違いました。このイイカゲンさが、また、魅力的です。

今回は、男性10名、女性6名の参加です。もちろん恩師もいらっしゃいます。

先生は、担任当時バリバリの女・熱血教師でした。何事につけ体当たりで愛情を持って指導していただきました。もう70歳ほどになられましたが、ものすごくお元気です(見た目も)。教え子よりもお若いと感じるほどに、パワフルであり意欲的です。

ご自身の席でじっとしていることなく、率先してみんなの席を回っていらっしゃいました。

何よりスゴイのは、みんなのことをきちんと覚えておいでです。名前はもちろんのこと、前回のクラス会で話した内容も。ですから「昔話に花が咲く」だけではなく、近況報告をしつつ、現在進行形の話しができます。

教え子たちを話をしながら、個々人の状況に応じて、

「お嫁さんを大事にきなさいよ。」

「健康が一番大事だからね。」

「もう孫がいるなんて、見えないわね。」

と声をかけていらっしゃいました。

学校長を務められた後定年退職されましたが、現在も非常勤ながら、中学校の教育現場で尽力されています。

大人になった今でも尊敬できる恩師です。



久しぶりに顔を見た友人がいました。

彼は、小学生のころから「おっさん」と呼ばれていました。このあだ名の由来は忘れてしまいましたが、老け顔だったということでしょうか。「おっさん」は本当にオッサンになっていました。サッカーが好き(中学では野球部に入りましたが)で、休み時間にはサッカーばかりやっていた。

「おっさん」の実家はお寺です。津島の町中を車で走りながらこのお寺の前を通ることがあるのですが、建物の傷みが目につくようになってきました。それを見ながら『おっさんは、どうしているかな』なんて思っていました。

「おっさん」は今、名古屋に住んで高校の先生をしているそうです。

帰り際に、津島に戻って来てお寺を継ぐと言っていました。しかし、嬉しそうではありませんでした。

ほんの少し話しただけの「おっさん」が一番印象に残りました。

たまたま同じ店に同級生が4人いました。彼らは松組です。

その中の一人が市会議員に立候補するそうです。

津島は昭和の時代に、毛織物で栄えました。津島神社の門前町でもあります。

ところが現在では地域経済を牽引する産業もなく、典型的な寂れた田舎町です。津島駅から津島神社までのメインストリートだった天王通りの商店は少なからず店を閉め、空地も出て来ました。

うちのうどん屋も然りです。

「遠くない将来に、地方都市の半数が消滅してしまう。」と言われ始めました。

国による政策的な取組は当然ながら重要ですが、地方は自分に何ができるのか、何をすべきなのかを真剣に考えないとたいへんなことになってしまいます。

ふるさとがなくなってしまうなんて、悲しい限りです。

小学生に戻って、宴はその後も続きました。